

第3学年 国語科学習指導案

児童 3年1組 男14名 女16名
指導者 三浦 美乃

単元名

要約の仕方を学び、働く犬リーフレットを作ろう。

学習材名「もうどう犬の訓練」(東京書籍3年) P49～P59

<主となる指導事項>

◎目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。(C読むこと(1)エ)

<付けたい力>

○大事な言葉や文を見つけながら文章を読み、書かれていることを要約する。

<単元の言語活動>

◎要約の仕方を学び、働く犬リーフレットを作って、展示する。

1 単元について

(1) 子どもの実態

子どもたちは、「ビーバーの大工事」(東京書籍2年下)で、大事な言葉や文に気を付けながら文章を読むことを学習してきている。また、「自然のかくし絵」(東京書籍3年上)では、中心となる語や文を押さえながら、段落ごとの内容を捉えて読むことを学習している。しかし、大事な言葉や文に気を付けて読み取る力、読み取ったことをまとめる力は十分に身に付いていない。事前に行った国語の意識アンケートでは、「説明文を読むこと」が苦手と答えた子どもが、36%と物語文の14%に比べ、苦手と感じる児童が多かった。さらに本単元に関わる力として、「大事な言葉や文を、文や文章の中から見つけること」が苦手と答える子どもが43%と全体の4割近くが難しさを感じていることも分かった。実際に、昨年度実施した学力調査の結果を見ても、「説明されている事柄の順序や大事な言葉を読み取って、丁寧な言葉で書く」力の正答率が2割弱で、苦手であることが分かる。

以上のことから、本単元では、「要約の仕方を学び、働く犬リーフレットを作って、展示する。」という言語活動を通して、段落ごとに大事な言葉を押さえながら内容を捉える力を身に付けさせたいと考える。

(2) 学習材について

「もうどう犬の訓練」は、子どもたちの生活に身近な存在である犬についての内容となっている。生き物が大好きな子どもたちにとっては興味・関心をもちやすい題材である。

本学習材は、盲導犬の訓練について、盲導犬の定義や役割、訓練の内容や段階を順序立てて説明した文章である。また、「どのような訓練が行われるか」ということに即して説明しているため、大事な言葉や文を見つけやすく、段落ごとの内容を捉えやすい。要約を初めて学習する子どもにとって、適した学習材といえる。

(3) 言語活動の特徴と指導事項との関連

本単元では、「要約の仕方を学び、働く犬リーフレットを作って、展示する。」を単元の言語活動として設定する。学習材で読み取った盲導犬の訓練の内容や、自分で調べた犬についての情報を要約し、単元の最後に、学習の成果や身に付けた力を、村の文化祭の展示コーナーを作ってお客さんに向けて紹介する。要約に臨む際には、幅広い世代のお客さんが読みやすいように、短く、分かりやすくまとめるという目的意識や相手意識から、またリーフレットという限られたスペースの中で自分の伝えたい内容をまとめなくてはいけないという活動の制約から、「要約」という活動の必要感を感じさせたい。また要約の力を身に付けられるよう、第二次の学習材の読み取りでは、全体で要約の仕方を学んで練習し、第三次では自力で要約できるよう、読み取りの段階では少しずつ自力で活動する割合を増やしなが、付けたい力へとつなげたい。

(4) 指導に当たって

第一次では、学習に入る前に、本校に読み聞かせに来ていただいている「あっぷっぷ」さんに、働く犬についてのブックトークをしていただき、子どもたちの興味へとつなげたい。また、そこから働く犬について知っていること、知らないことなどをクイズ形式で交流し合いながら、自分が調べてみたいテーマを考えるとともに、並行読書の進め方についても確認したい。文章の構成を捉える際には、既習を生かし形式段落に分けた後に、意味段落の学習へとつなげたい。リーフレットの例の一部を見ながら、リーフレットの項目ごとに形式段落を割り振りし、どういうまとまりになっているか考える活動を行うことで、リーフレットの構造が訓練の内容ごと、意味段落ごとに分かれていることを押さえさせたい。また意味段落に分ける際には、文章中の「さいしょに」や「次は」など順番を表す言葉を押さえながら、訓練の内容をまとめていきたい。

第二次では、第一次で分けた意味段落を基に読み取り、要約を行う。読み取りを行う際には、盲導犬の成長に合わせてどんな訓練が行われるのかを確かめ、それぞれの内容について大事な言葉や文に着目しながら、訓練の内容を整理させたい。読み取った訓練の内容の要点をまとめる際には、要点のまとめ方を全体で共有し、大事な言葉を確認した後に、言葉を補ったり削ったりする作業を行う。第二次の初めの段階は、練習の段階とし、次第に自分たちで考える活動の幅を増やしなが、第三次では自力でできるように、子どもたちにも力が身に付いてきたことを意識できるよう、活動を工夫したい。

第三次では、身に付けた要約の力を活用し、自分で調べたい内容を自力で要約する活動を行う。調べたい内容を説明する上で欠かせない言葉、大事な言葉をメモし、メモを基に要約を行う。まとめたものを、一度学級の友だち同士でアドバイスし合いなが、推敲の作業へとつなげたい。アドバイスする際は、読み手に分かりやすい内容にするにはどうすればよいかを考えさせて推敲につなげることで、相手意識・目的意識を再度意識させたい。

2 単元の指導目標と評価規準

- 働く犬について関心をもち、色々な資料を進んで読み、調べようとしている。 【関心・意欲・態度】
- 目的に応じて、中心となる語や文に注目して読むことができる。 【読むこと（1）イ】
- ◎目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、書かれている内容を要約することができる。 【読むこと（1）エ】
- 文章を読み、指示語や接続語の役割を理解することができる。 【伝国（1）イ（ク）】

【評価規準】

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
○働く犬について関心をもち、色々な資料を進んで読み、調べようとしている。	○目的に応じて、中心となる語や文に注目して読んでいる。 【読むこと（1）イ】 ◎目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、書かれている内容を要約している。【読むこと（1）エ】	○文章を読み、指示語や接続語の役割を理解している。

3 単元の指導計画（全10時間）

次	時	主な学習活動	指導の手立て	評価とその方法	並行読書
一	1	○学習の見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・働く犬クイズを通し、働く犬について知っていること、調べてみたいことを話し合わせる。 ・リーフレットの例を見て、学習課題を確認し、学習計画を立てる。 ・並行読書の仕方を確認する。 ・百科事典や図鑑での調べ方を教科書P60「目次やさくいんを活用しよう」を確認する。 	関 働く犬リーフレットを作ることに意欲をもって取り組もうとしている。 (発言・感想)	
	2 3	○文章を大まかに読み取り、文章の構成をつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習材を読み、段落に分けさせる。 ・文章全体を構「はじめ・中・おわり」にわけさせる。 ・段落の内容と「働く犬リーフレット」の内容を比べさせ、リーフレットにどのような内容が書かれてあるか確認する。 	読 文章全体の構成を捉え、訓練の順序や内容を大まかにつかむことができる。(発言・活動) 読 学習材を読んで、指示語や接続語の	

			(意味段落ごとに分かれている。)	役割を理解している。(発言)	並 行 読 書
二	4	○盲導犬について読み取り, 要点をまとめる。(①~③段落)	・大事な言葉や文を考えながら, 盲導犬の定義について, ワークシートに簡潔にまとめさせる。	<p>読 大事な言葉や文を手掛かりに, 盲導犬の定義を読み取っている。(発言・ワークシート)</p> <p>読 文章の要点や細かい点に注意し, 言葉を補ったり書き換えたりしながら, 内容をまとめている。(ワークシート)</p>	
	5	○初めの訓練について読み取り, 要点をまとめる。(④~⑧段落)	・大事な言葉や文を考えながら, 人間の言うことにしたがう訓練についてワークシートに簡潔にまとめさせる。	<p>読 大事な言葉や文を手掛かりに, 訓練について読み取っている。(発言・ワークシート)</p> <p>読 文章の要点や細かい点に注意し, 言葉を補ったり書き換えたりしながら, 内容をまとめている。(ワークシート)</p>	
	6 本 時	○次の訓練について読み取り, 要点をまとめる。(⑨~⑫段落)	・大事な言葉や文を考えながら, 人を安全に導く訓練についてワークシートに簡潔にまとめさせる。	<p>読 大事な言葉や文を手掛かりに, 訓練について読み取っている。(発言・ワークシート)</p> <p>読 文章の要点や細かい点に注意し, 言葉を補ったり書き換えたりしながら, 内容をまとめている。(ワークシート)</p>	

	7	<p>○盲導犬の心構えや一人前になってからのくらしについて読み取り，要点をまとめる。</p> <p>(⑬～⑯段落)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大事な言葉や文を考えながら，盲導犬の心構えや一人前になってからのくらしについてワークシートに簡潔にまとめさせる。 	<p>読大事な言葉や文を手掛かりに，訓練についてと一人前になってからのくらしを読み取っている。(発言・ワークシート)</p> <p>読文章の要点や細かい点に注意し，言葉を補ったり書き換えたりしながら，内容をまとめている。(ワークシート)</p>
三	8・9	<p>○本や資料から，自分の伝えたい内容を選び，要約する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が調べたい事柄を決め，どの情報が必要か，並行読書の本や資料などから大事な言葉や文章を探して，メモをさせる。 ・メモの言葉や文を基に，内容を要約させる。 	<p>読調べて分かったことを整理して，紹介するために大事な言葉や文を落とさないように要約している。(ワークシート)</p>
	10	<p>○リーフレットにまとめた内容を推敲し，完成させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・推敲の視点を確認する。 ・視点に沿って，子どもたち同士で確認やアドバイスをし，清書させる。 ・振り返りシート「国語の力貯金」で，単元を通して付けた力を振り返らせ，確認する。 	<p>読「働く犬リーフレット」を読み合い，目的に応じて，分かりやすく要約できているか確かめている。(発言・ワークシート)</p>

並行読書

4 本時の指導 (6/10)

(1) ねらい

次の訓練について、大事な言葉や文を押さえながら読み取り、要点をまとめることができる。

(2) 展開

	学習活動・学習内容	指導の手立てと評価
導入 5分	<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>リーフレットの記事を書くために、次の訓練について、大事な言葉や文をおさえながら要点をまとめよう。</p> </div>	<p>○働く犬についてのリーフレットを、要約の技を使って作ることを確認する。</p>
展開 35分	<p>2 課題解決の見通しをもつ。</p> <p>3 学習課題を解決する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習場面を音読する。 ・「人を安全に導く訓練」の内容について、説明している中心文を探し、中心文から要点をまとめるのに必要な言葉を考える。(グループ) ・全体で中心文と大事な言葉を確認する。 ・要点のまとめ方を確認し、「人を安全に導く訓練」について要約する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>⑨～⑫段落を中心文や大事な言葉を使って、要点をまとめる。</p> <p>例) あぶないものの前で止まったり、よけたりする訓練をします。</p> <p>使っている人にとってきけんなめいれいには、したがわない訓練をします。</p> </div>	<p>○学習の流れを確認する。</p> <p>○「教えられる」など訓練に関わる言葉や、訓練の内容を説明している叙述を根拠にさせ、中心文を見つけさせる。</p> <p>○省いても意味が通る言葉、必要な言葉を取捨選択させる。</p> <p>○「人を安全に導く訓練」を説明するのに必要な言葉を共通に確認し、その言葉を使って説明することを確認する。</p> <p>○訓練の内容に合った挿絵を選択させ、補助説明を書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><評価規準></p> <p>A 補助説明を付け、中心文を使って訓練の内容を簡潔にまとめている。</p> <p>B 中心文を使って、訓練の内容を簡潔にまとめている。</p> <p>Bに到達させるための手立て</p> <p>中心文に戻り、意味が通るよう省く言葉を音読して考え、要点をまとめさせる。</p> </div>
	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめた文章を読み合う。(ペア) 	<p>○読み合う際は視点を与え、大事な言葉が入っているか確認し合う。</p>

ま と め 5 分	4 学習を振り返る。 ・振り返りをする。 <振り返りの観点> ◎中心文を使って短くまとめることができた。 (ポイント) ◎分かったこと・できたこと (記述) 5 次時の学習内容を確認する。 ・次時は「心構えと一人前になってからのくらし」 について要点をまとめることを確認する。	○ワークシート「国語の力貯金」に本時の学習の 振り返りを書かせる。(ポイントと記述) ○自己評価をして自分のがんばりや学習の成果 を実感し、成就感をもつことができるようにす る。 ○観点に沿って振り返りをしている子どもを意 図的に指名し、価値付けを図る。
-----------------------------------	--	---

5 板書計画

本時の流れ

★今日のゴール
 (リーフレットの枠)

⑫使っている人にとってきげんな命令には、したがわないうことも教えられません。

⑨次の訓練 人を安全に導く訓練

要点をまとめるときに気をつけること

挿絵選択肢

⑪あぶないもの前で止まったり、それをよけて進んだりすることを、くり返しくり返し教えこまれます。

⑧リーフレットの記事を書くために、次の訓練について、大事な言葉や文をおさえながら要点をまとめよう。

要約の仕方を学び、働く大リーフレットを作ろう。